

氷精と猫式神





きつと
これは異変だ



今年の冬は
いつまで経っても
過ぎ去る気配を
見せない

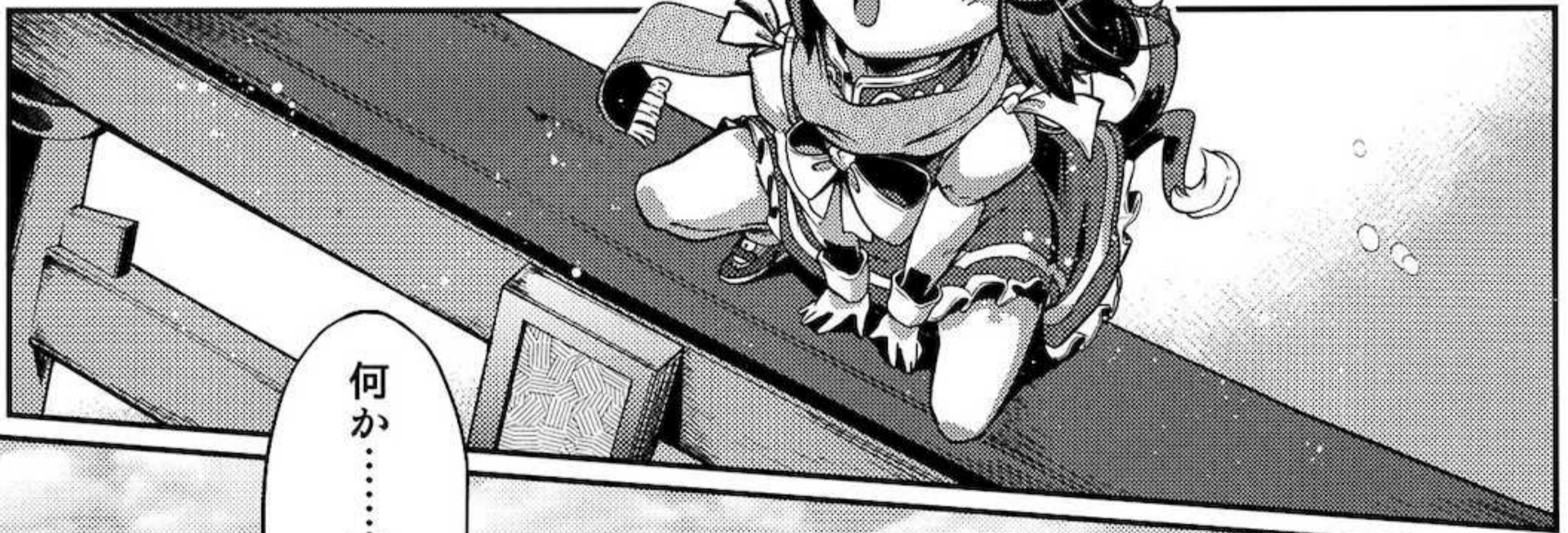
…寒いのはきらい



春はどこへ
行ったのかしら

氷精と猫式神







はて…

こんな所に
家があったっけ？

ここに
迷い込んだら
最後っ！

二度と戻る
事は出来ないわ

妖怪か…

あなた
見た所化け猫の
ようだけれど

ここが棲家
なのかしら？



そうよ!
此処はマヨヒガ
私達の里よ

人間は
出て行って
くれる?

「迷い込んだら
二度と戻れない」は
どうなったのよ...

で、確か
マヨヒガって



ここにある物を
持ち帰れば幸運に
なれるって...

なれるわよ

ふーん...



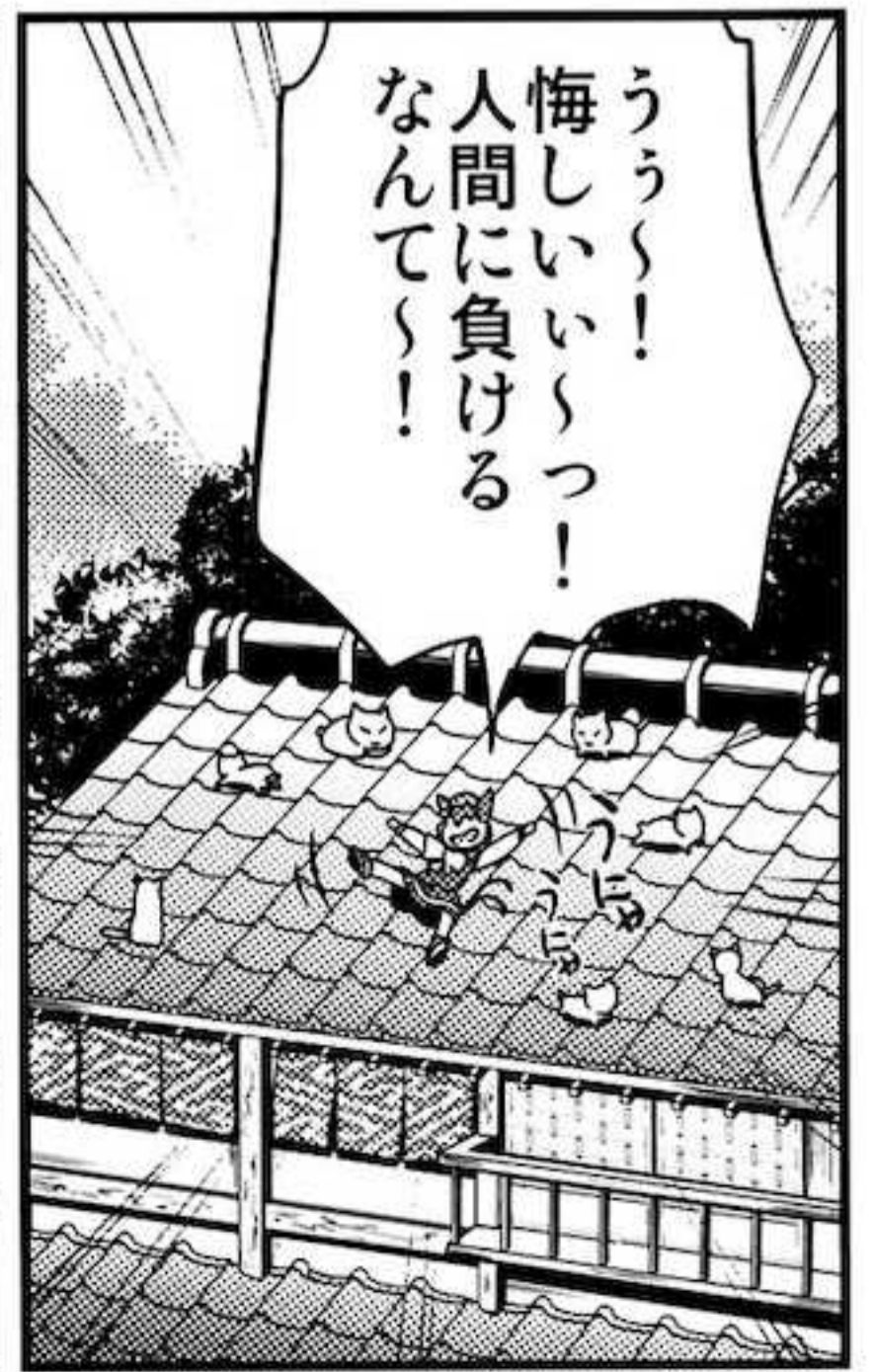
じゃあ

略奪開始



フフ
かかってこい
人間め!

ポロポロに
してあげるわ!





ようやく気が付いた？



随分とぐっすり寝てたわねえ

……



おっと

誰ッ!?



まあまあ落ち着いて

まずは話を聞きなさいよ



妖精……？



あたいはチルノ!

この辺では最強の
氷の超妖精と
呼ばれているわ

本当かしら
聞いたこと
ないけど

信じてないわね...



あんたさつき
霊夢に
やられたたろ

霊夢?

黒髪の巫女
の事よ

ああ...



あ、あれは
見逃してあげた
のよ!

次はきっと...



あたかもさつき
道中で霊夢に
襲われてさく!

あー思い出したら
腹立ってきたツ!

聞いてない...

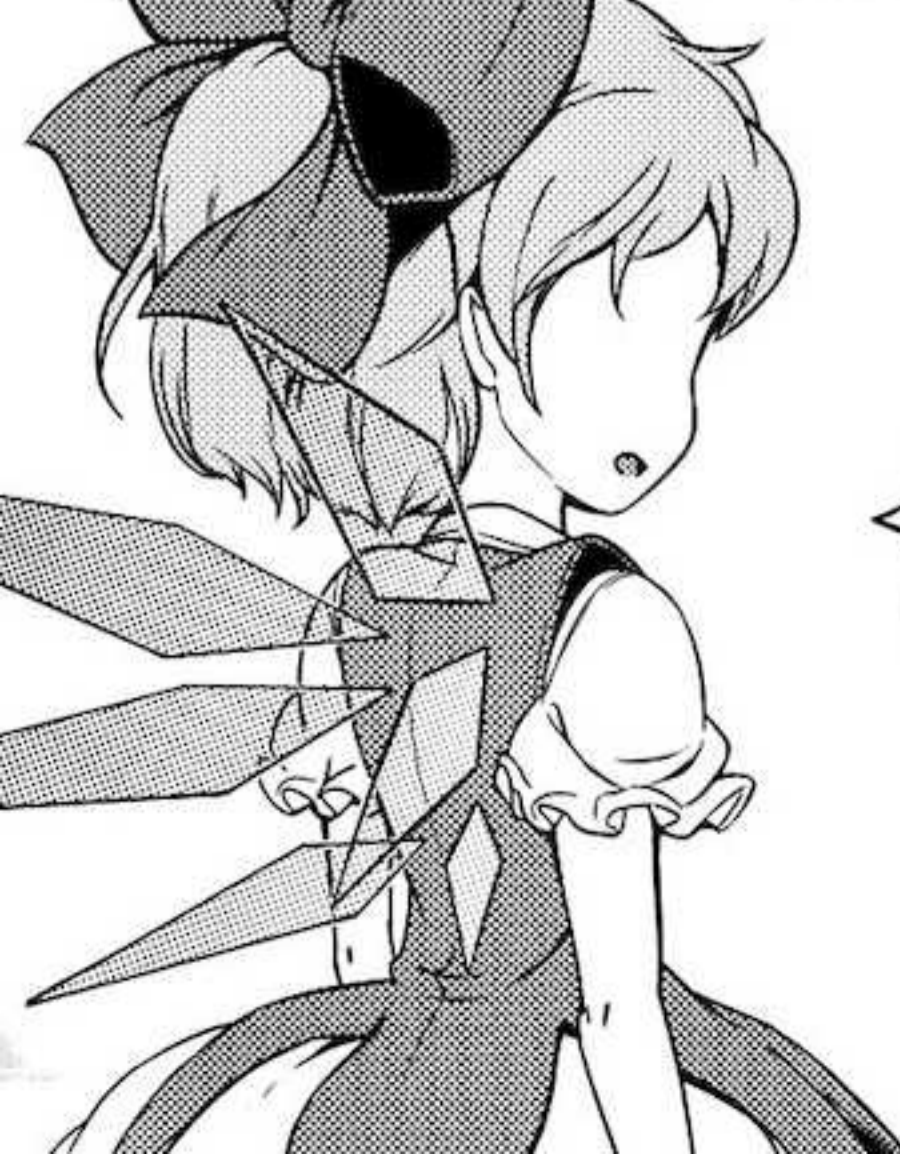


で、その最強の
妖精が私に
何の用なの?

超妖精よ!

はいはい

あんたに
お願いがあるの...





一緒に協力して
あいつらを
やっつけないか？

え？



霊夢はもう
行っちゃったし
今日は無理だけど

あいつには
もう一人
仲間がいるのよ

仲間？
そいつも
危険な人間
なの？

そう！魔理沙よ！
紅い霧の異変の
時にもあいつ等が
暴れてさ…

あたいのカンだと
霊夢を追って
そろそろこの辺を
通るわね！



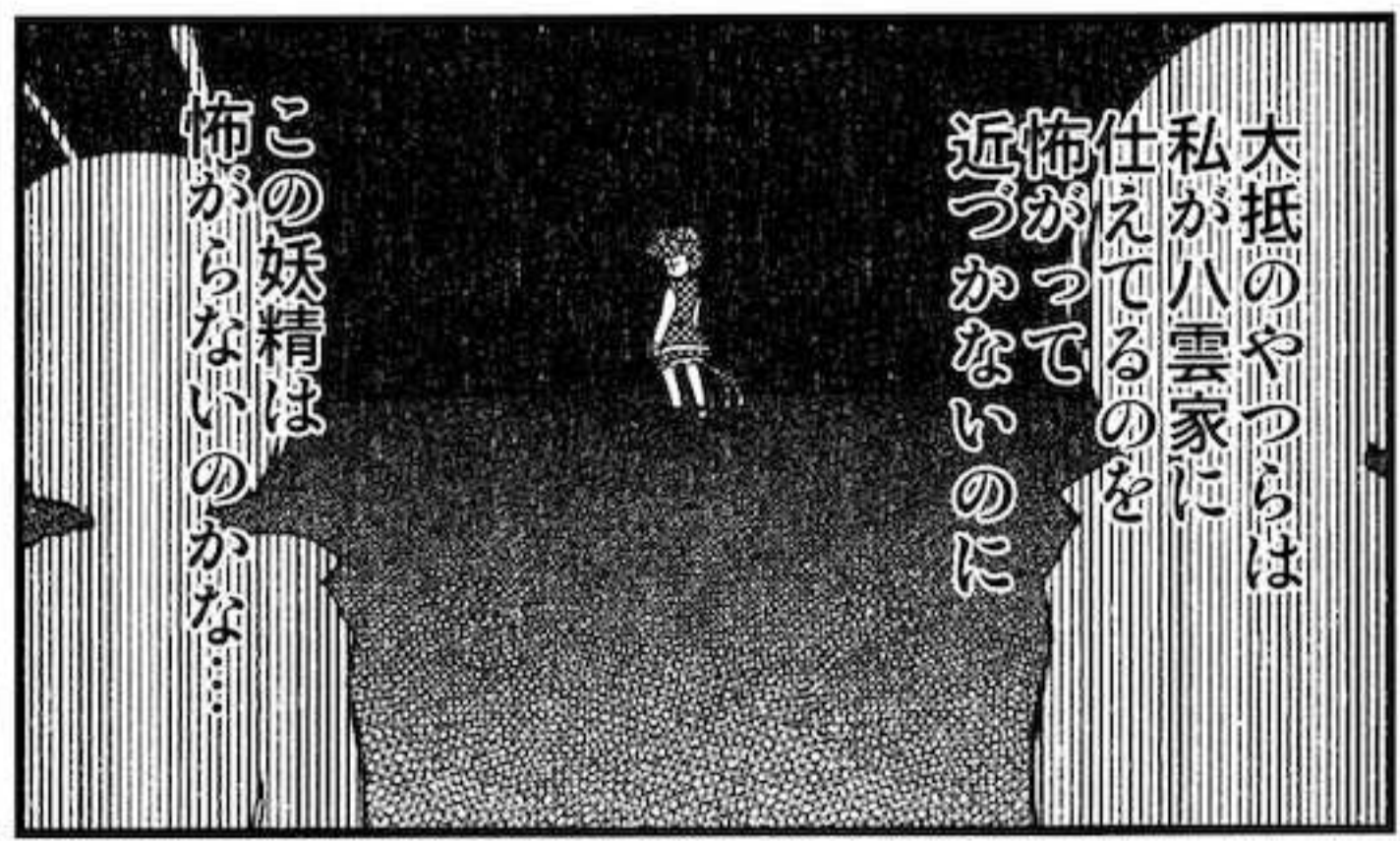
え？
たまたま近くに
居たからよ

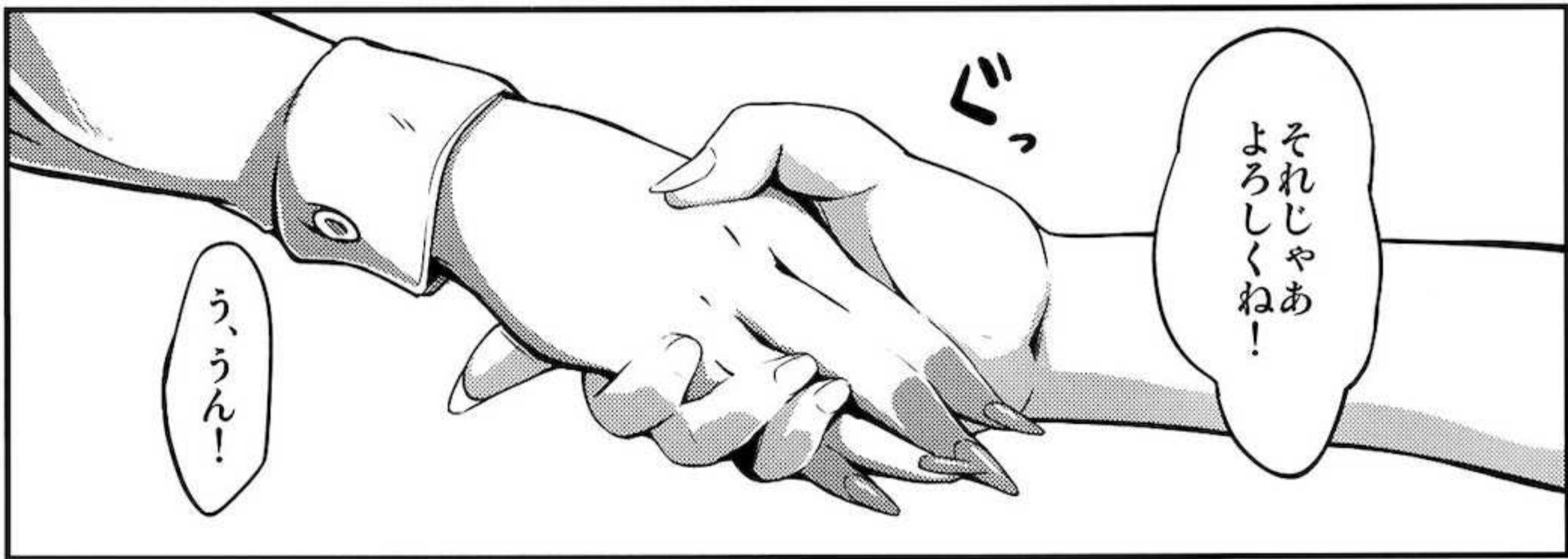
だと思った



…
分からない
事があるわ

何で私なの？







ん？
あれは…

寒…
何処へ
行っただ
奴の奴

トユウウウウ…

くうく
こたえるぜ
この寒さは…



呼ばれて
飛び出て…



ここは
人間の様な
所だかな



標的がなんの
用なんだ

あんた、ちったあ
驚きなさいよ
目の前に
強敵がいるのよ？



出るもんが
出たな…



参上！

あたい参上！



どうかしら？
あなた、
あたいたち
びびって
るんでしょ



そんな
分かりやすい
挑発には
乗らないぜ

どうしても
私と戦いた
いん
だろうが…



今日はいつもの
お返しよ！

妖精と猫が協力
した所で私を
止められるとは
思えないぜ



…バカって
呼んでみる

もう一度…！



あ…

馬鹿と四本足の
生き物に
用などないぜ



先を急いでる
今回は決闘もナシだ



ちよつと…！

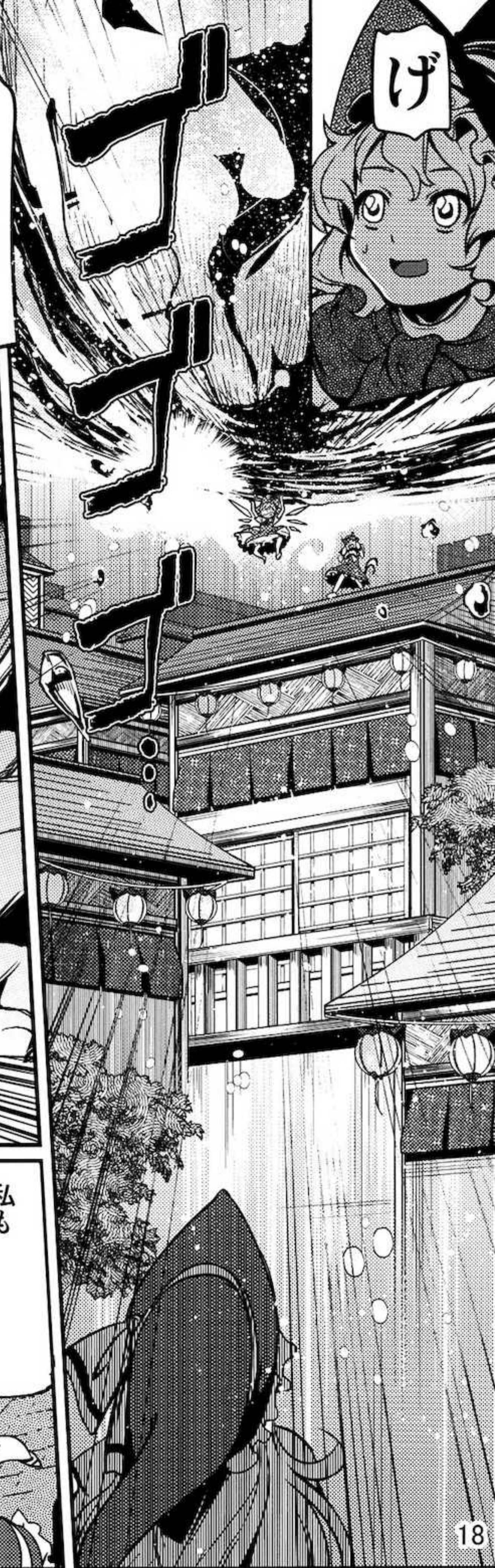
ば…

ん？
聞こえなかつたか？



あんたなんて
冷凍保存
してやるわ！

うおおっと！



げ



私も
行かなきゃ……！



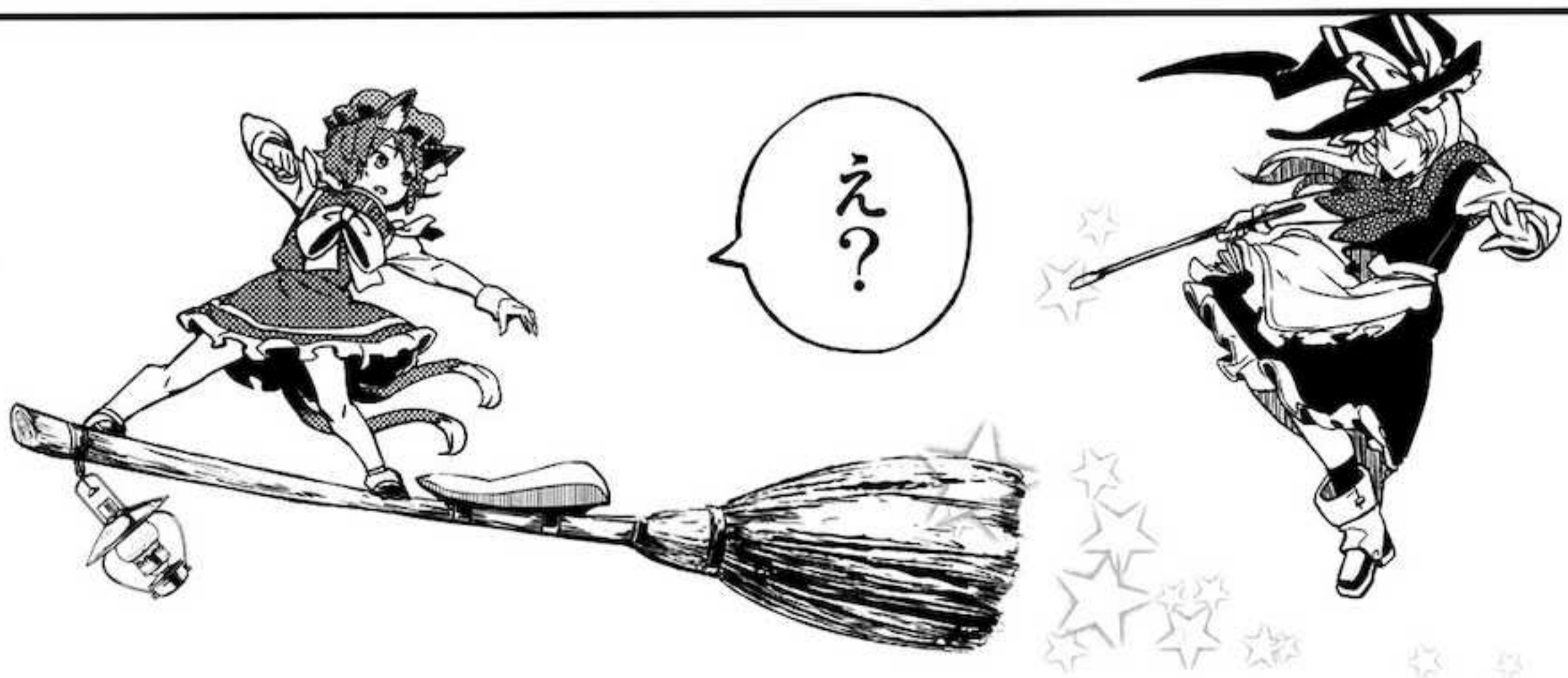
翔符「飛翔韋駄天」



とらえたぜ!









これは
お返しだぜツ！



よっ







…でも



またあの時みたいだ…

そうだね
すごく強い…



弾幕がすごい
強力だわ

あいつか
やらないか



あはは

この妖精を見ると
不思議な勇気が
わいてきちゃうな

へんなの



…



フフツ



次はきつと
負けない!
と思うわない?



!



今度こそ
リベンジよ!

シューー!



今度は
あったかい…



呼ばれて
飛び出て…

!



それとも
逃げ出したか

二人供何処へ
隠れたんだ？



何度やっても
私の勝ちはず
揺るがないぜ



化け猫参上！



鬼神「鳴動持国天」



まだ負けてなんか
いないもの！



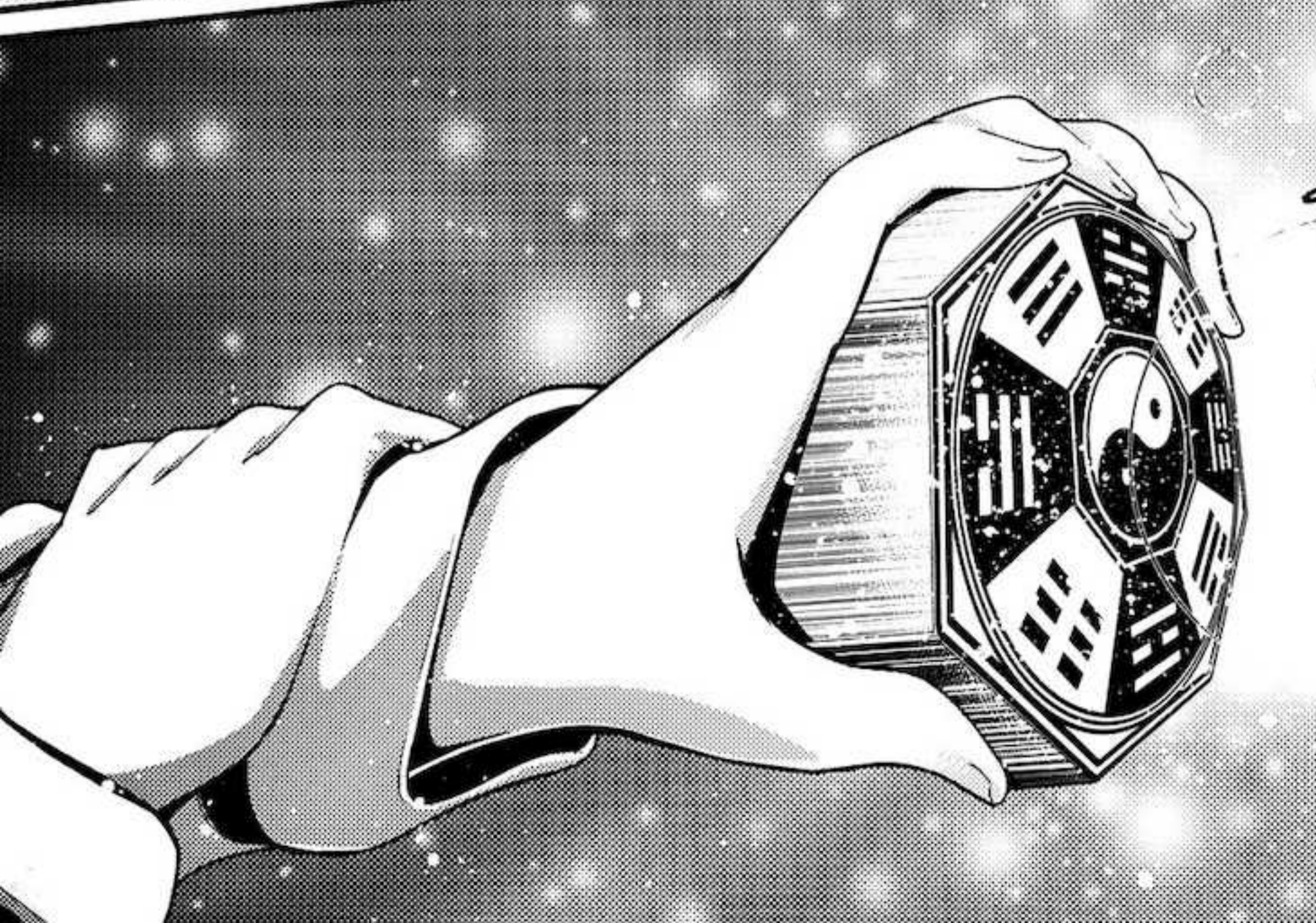
本当に
奇妙な術を使う
化け猫だが…



砂と塵で
出来てるのか？



的がでか過ぎるぜ！





恋符「マスタースパーク」



シュウウウ...



さすがに少し
驚いたが…

も
も



今回も私の勝ちだな



そろそろ降参
したらどうだ？



私も
とっておきは
出した



今よ！



？





よくやったわ!

あたい達の
本気を見せて
あげる!

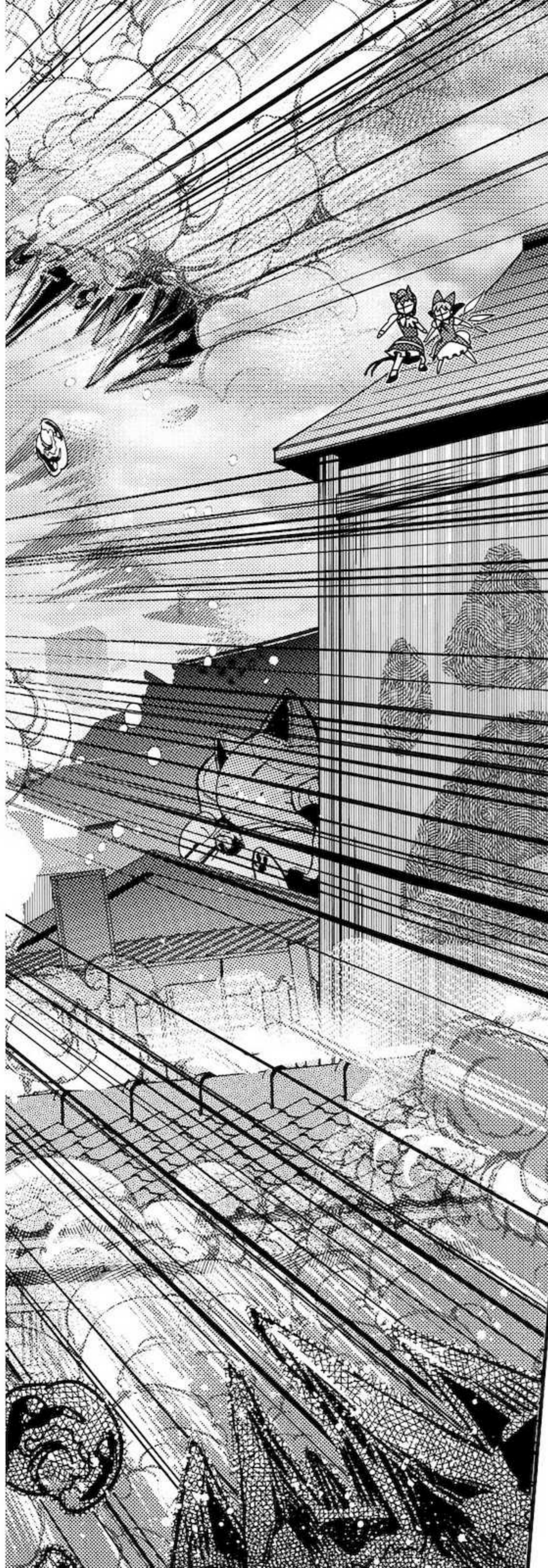


粉塵が
凍っていく...



何ッ





あたいらにか
かれば

あんたを
凍らせなくても
動きを封じる
事が出来る

これが必殺の…

パーフェクトフリーズ!





滅茶苦茶だぜ
これは…

…お前らの
目的は何だ？

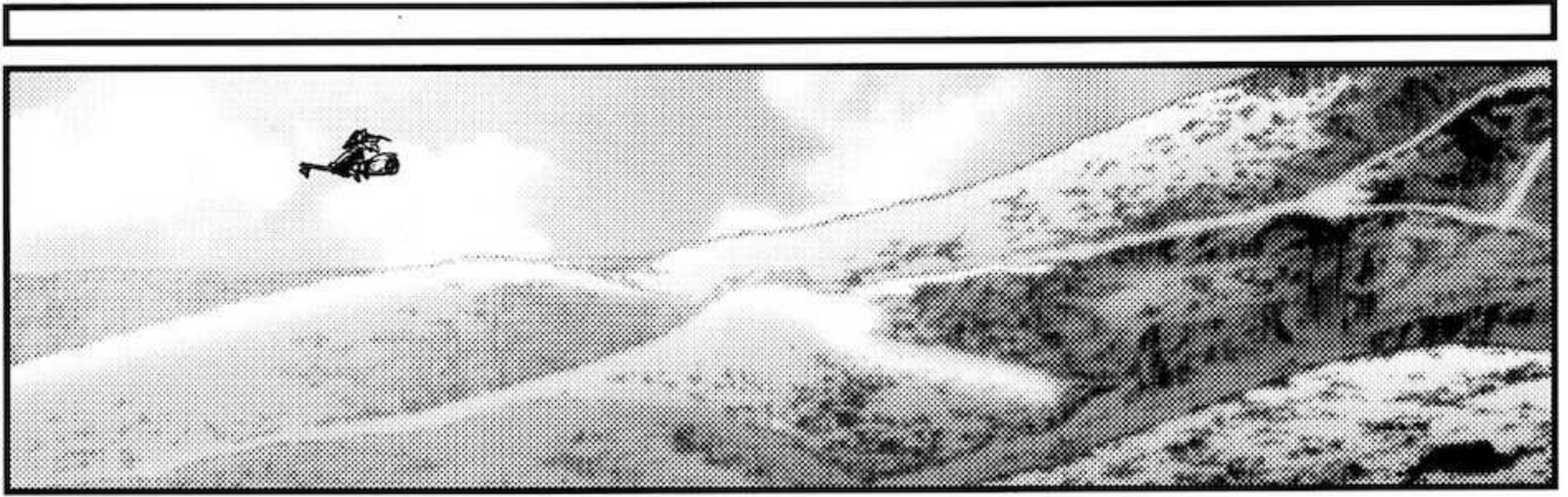
どうしたら
解放して
くれる…

そうだねえ…

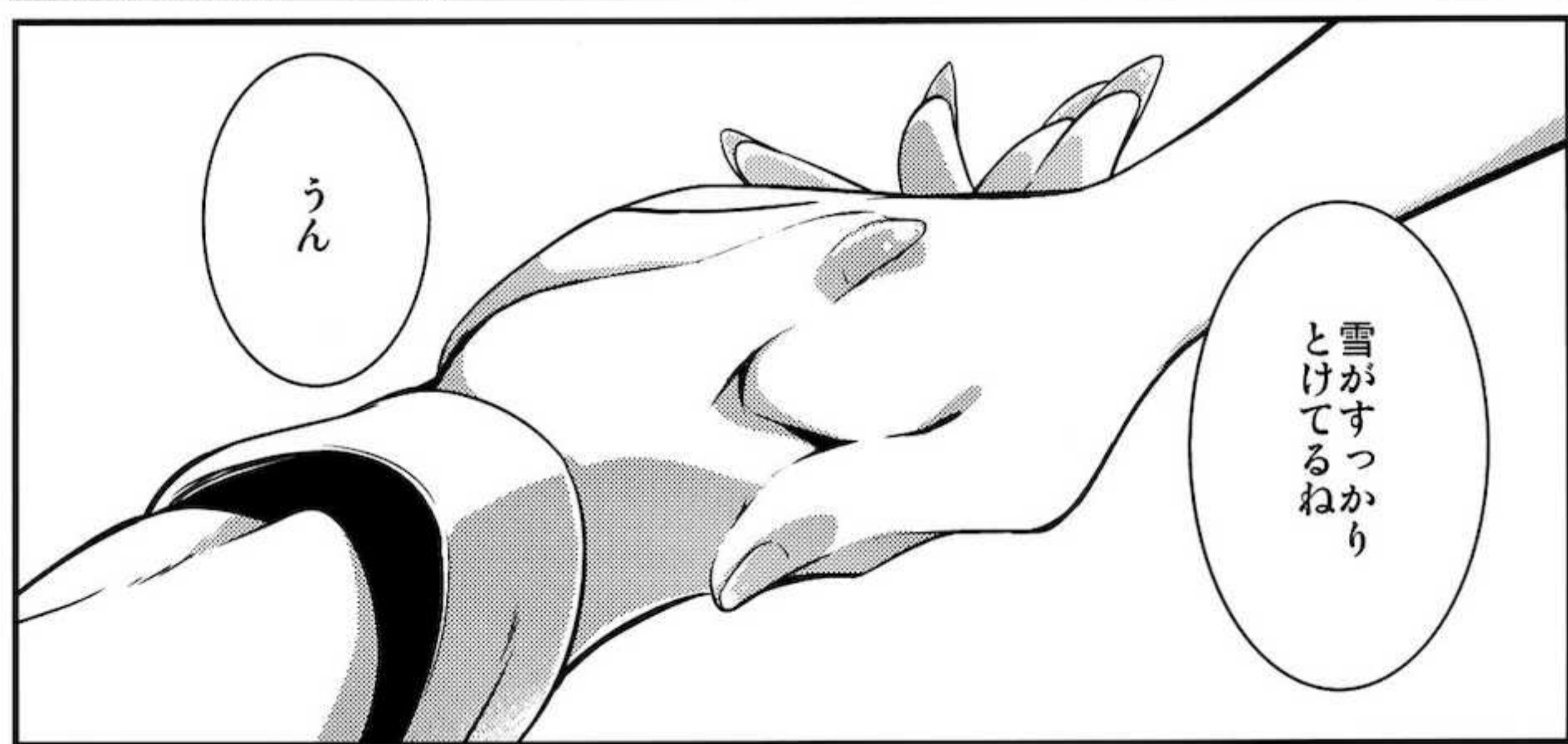
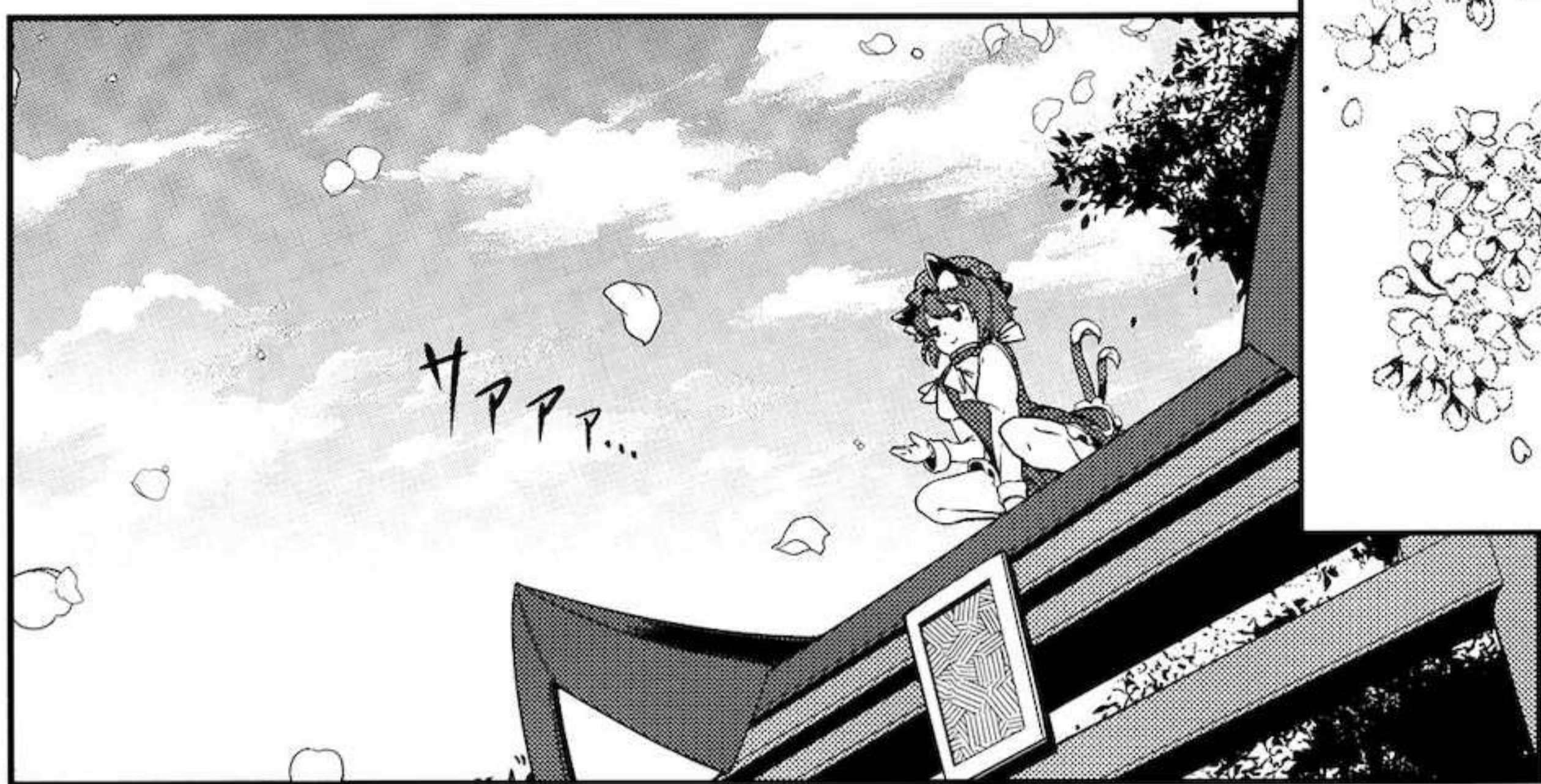
参りましたと言えーっ！

…つたく今日は
とんだ災難だ

参ったぜ…









春の風が
気持ちいいや

あとがき



はじめまして、池田P郎といたします。

この度はこの本を手にとってくださり、ありがとうございます！

今回は「ひざの上の猫式神」、「マヨヒガの猫式神」と同じ世界観の話になります。いずれも橙が主人公のお話です。

原作の妖々夢をプレイしてて、橙のプライドの高さや人間達を完全に見下してる辺りのセリフが良い感じに幼さ、あるいは小物臭を出しててとても好きです。

そんな橙に友達が出来るとしたら誰なのかな～と思ったのがチルノでした。道中(妖々夢一面)で霊夢に倒されるも、再戦の為後を追いかける内に彼女もまた、マヨヒガに迷い込み…二人は出会います。

この後やって来るのが魔理沙でなく咲夜だったらどのように戦ったのか？あるいは霊夢だったら…？

いつか妖怪やら妖精やら友達が沢山出来て、マヨヒガに多くの妖怪達が住み着くようになり、これを危険と感じた霊夢達が乗り込んで来て妖怪と人間の大戦争…とかしてみたいですね～(遠い目)

まだまだ語り足りませんが今回はこの辺で。それでは、また。



氷精と猫式神

発行日:2012/8/11

原作:上海アリス幻楽団様

著者:池田P郎

HP: <http://transparent.tabigeinin.com/>

mail: bad.masa15@hotmail.co.jp

twitter: <http://twitter.com/ikedasans>

印刷: 栄光様

.....

ご意見・ご感想を心よりお待ちしております。
乱丁・落丁等ございましたらお取替えいたします。

※本書の一部、または全てを無断で複写、複製する事を禁じます。
※転売、インターネットでの流出もご遠慮ください。

